

◆◆◆
ダーベンの見たる
百年前の南米

せ中ローラス將軍と馬鹿との戦いは、身體は血と嘔吐だらけになつて急走する。争談で持切りであつた。或日の午後再び港に行く。目的に着いた時案内人が馬の三頭人らしいと言ふ。三人は馬かうらり下りたが、忽ち一人が又馬に乗りつて五の影に走り去つた。案内人は馬から下りてピストルに弾を込めて呪れと言ふ、確に印度人かと聞けば、能く判らぬが三人位なら大した事は無からうと言ふ。馬で走つた人は恐らく仲間を連れて来るのではあるまいか、案内人は依然「キエン」サーベ」能く判らぬと云ふ。兎に角早く歸らうと言へば、歸るには歸るが沼に沿うて馬の倒れる迄駆け抜けそれから歩行した方が安全であると言ふ。餘り賴りにはならぬが兎に角急いで歩き出すと、掛け出て来る迄は急がぬ方が好いと言ふ、そこで高貴な方の意見は依然「キエン」の處で三人の影が見へればゆつくり歩き、低い處で見へなくなれば馬を駆けた。谷から左に調えて「馬の麓に来た時、馬から下りて犬と共に地面に伏し四つ這いつたが、案内人は全然印度人と信じて先方を偵察して居たが突然大聲で笑つて、女だと云ふ。市長の息子の妻君と妹が船員でブランカに本艦を待合す。バイア・ブランカよりベノス・アイレス・バイア・ブランカに本艦を待合す。

〔講賀新年御遠慮申上ます」と

〔謹賀新年御遠慮申上ます」と

既報の通り日本移民問題に關してはリオ並に聖市の有力紙は全く中立の態度を持し稀に寄書を掲載する程度であつたが去十一月リオ發行チアリオ・カリオカ月刊は珍らしくもその社説欄のトーブに「チアリオにおける日本」人」と題する論文を掲げ、現に反対論は國の發展を基調とする紙は珍らしくもその社説欄のトーブに「チアリオにおける日本」人」と題する論文を掲げ、現に反対論は國の發展を基調とする

人かと問題にする論文を掲げ、現に反対論は國の發展を基調とする紙は珍らしくもその社説欄のトーブに「チアリオにおける日本」人」と題する論文を掲げ、現に反対論は國の發展を基調とする

人かと問題にする論文を掲げ、現に反対論は國の發展を基調とする紙は珍らしくもその社説欄のトーブに「チアリオにおける日本」人」と題する論文を掲げ、現に反対論は國の發展を基調とする

人かと問題にする論文を掲げ、現に反対論は國の發展を基調とする紙は珍らしくもその社説欄のトーブに「チアリオにおける日本」人」と題する論文を掲げ、現に反対論は國の發展を基調とする

人かと問題にする論文を掲げ、現に反対論は國の發展を基調とする紙は珍らしくもその社説欄のトーブに「チアリオにおける日本」人」と題する論文を掲げ、現に反対論は國の發展を基調とする

チアリオ・カリオカ紙の排日論排撃

日本移民渡來に

反對の理由を認めぬ

歌ふ・踊る・笑む

二日間快晴に恵まれて

カルナバルは終る

世界で有名な謝肉祭は、ペネチアと云はれてゐるが、近頃、歐洲は段々世智辛くなつて全國を歩行者もランサを持つものはほく假裝も貧弱だ、見物の大衆やな不景氣の黒い顔が陰影する

今年も例年通り自動車行進も

出たが好況時の様な盛大さはない

日本移民問題は我國にとり正しく重要な問題である

ありその誘入の意義も明白な

見解より論ずるといふは探ら

ざるところ、こは宜しく國家的

問題をめぐり明かに面白から

ね経緯をたつる由なき重大問題

をその個人的感情乃至獨斷的

見解より論ずるといふは探ら

ざるところ、こは宜しく國家的

問題をめぐり明かに面白から

